

令和6年9月6日（金） 富山県議会請願書提出

令和6年9月7日（土） 北日本新聞

北日本新聞社 2024/09/07



県内産業への影響について懸念を示す城實会長（右）＝県議事堂

産廃処分場に懸念 県議会に請願書

県西部の農業・漁業対策協

庄川上流域の岐阜県高山市で計画されている産業廃棄物最終処分場の建設を巡り、富山県西部の農業・漁業団体などでつくる対策協議会の城實会長らが6日、県議事堂を訪れ、山本徹県議会議長に請願書を提出した。

請願書は、計画の許可権を持つ岐阜県知事に対し、富山県民への影響度を十分考慮して厳正に対応するよう求めるほか、計画にかかる意見聴取で庄川下流域の住民の意見を尊重することなどを盛り込んだ。城實会長は「有害物質が流れ出るなどすれば県全体に影響する」と強い懸念を伝え、県議会を通じて岐阜県側に働きかけるよう求めた。

令和6年9月7日（土） 富山新聞

高山の産廃処分場建設に反対 岐阜側に働き掛けを

県西部住民、県議長に請願

県西部の住民でつくる「庄川流域六ヶ所産廃処分場計画対策協議会」の役員4人は6日、県議事堂に山本徹県議会議長を訪ね、岐阜県高山市の庄川上流の山間部で計画されている産業廃棄物の最終処分場建設に反対する考えを伝えた。写真。県議会が岐阜県知事と同県議会に対し、富山の影響を考慮し、厳正に対処するように働き掛けることを求めた。

最終処分場は、廃棄物処理業のアルト（富山市）が建設を計画している。城實会長が山本議長に請願書を手渡し、「有害物質が流出すれば、農業や漁業、観光業など富山の産業が壊滅的な被害を受ける」と訴え、年度内に建設反対の署名活動を始めようとした。山本議長は計画の詳細を知る必要があるとし「ただ反対するのではなく、対策を立てないといけない」と指摘した。

米原善、武田真一、齋藤富士夫、安達孝彦、瀬川侑希の各県議が同席した。

南砺市長選で 田中氏を推薦 自民県連

自民党県連は6日、11月10日告示、同17日投票の南砺市長選で現職の田中幹夫氏（62）＝4期、高堀の推薦を決めた。

◇「ニュース裏表」休めま。